



明V連だより

～ボランティアとボランティアをつなぐ広報紙～

115号 令和4年7月
発行：明石市ボランティア連絡会
編集：広報部 編集委員会
明石市貴崎1丁目5番13号
明石市立総合福祉センター内
TEL・FAX 078-924-9112

真剣だと「知恵」がでます。新しい発見があります。

2022年度は、そんなチャレンジの年にしていきましょう。

会長 坂口 逸子

事務局情報

● 令和4年度 定期総会開催!!

4/23 総会開催。出席者の協力ですべてが承認された。

残念ながら数グループ委任状も・欠席届も出して頂けなかった。

参加することが最大の協力!
新しいV連がスタートします。



● 校区ボランティア合同会議開催!!



合同会議の開催に向け、昨年の反省をふまえて、今年度も二部制による開催を計画した。さらに、校区别グループワークを体育室から各部屋に移動し、隣の声を気にせず落ち着いて話し合いができるように工夫した。初めての取り組みであったが、いつもより話し合いに集中できスムーズに進行できたとの感想をいただいた。今後は、各校区を中心に研修部もお手伝いさせて頂きながら進めていきます。

テーマ：～顔の見えるネットワークづくり～
サブテーマ：『 挑 戦 !! 』

● 第14回あかしボランティアフェスタ実行委員会発足!!

月1回ペースで開催しており、フェスタ開催日 12/4(日)
会場 総合福祉センターに、
決定しました。

広報部より

明V連だより 紙面一新
事務局情報・グループ紹介など
見やすく、読んでもらえる構成
にしました。

研修部より

研修部内で校区担当者を決め、どんな
お手伝いができるのか検討中。
各校区の開催日程は随時お知らせします。
まずは、7/9開催の二見中校区から。



ようこそ ニューフェイス

Lien（代表者・平野 秀昭）：教育分野



私たち、Lienは保育士を中心としたメンバーで構成されています。子どもが幸せであるためには、保護者や保育者が明るく前向きに生きていることが必要という理念の下、子育て支援活動を行っています。活動内容としては、親子で楽しめるイベントを開催し、親子の絆を深め、保護者と保育者とのコミュニケーションを図っています。また、子育てに役立つコンテンツを動画やブログ記事として、オンライン配信をしています。（平野 秀昭 記）

リコーダーアンサンブル リコピー（代表者・森岡 眞須子）：文化・健康分野



高音～低音と4種類のリコーダーでアンサンブルを奏でます。小中学校の教材でなじみのあるソプラノ・アルトリコーダーに、テナー・バスを加えたリコーダーのアンサンブルは、音楽の世界を大きくひろげてくれることと思います。各サロン・子供会・施設等でリコーダーの音色に親しんでもらえ、音楽でほっと一息、癒しを与えられるよう活動しています。また小中学生にリコーダーの指導もしています。（森岡 眞須子 記）

我慢の自粛から、with コロナに向けて

コロナ禍での経験と、with コロナに向けた各グループの思いを連載します

明石点灯会：技術分野



今年度は新会員5名を迎え計36名でスタートをしました。点V連や視覚障がい者などからの点訳依頼に応える。図書の自主点訳、新聞点訳の回覧など、コロナ禍でも個人の自宅での活動が行えている。月2回の点訳技術の向上のための勉強会・研修なども感染の状況を見極めながら行っている。（半井 孝 記）

上ノ丸たすけ合いひまわり会：地域分野 明石ブロック



この2年間、本来の活動ができず、我慢の毎日でしたが、この4月より、新しい時代に対応できるよう意識を変えて取り組むことにしました。メインの飲食にこだわらず、楽しく取り組むことを工夫しながら直に顔を合わせ、楽しく会話ができるコミュニケーションの場の大切さを、訴えていきたいと思っています。(吉川 陽子 記)

中崎なかよし会：地域分野 明石ブロック



コロナ禍、主な活動であるふれあい会食ができず、友愛訪問で安否確認をしていました。今年度は、ウイズコロナでの活動として、集いも工夫して再開する予定です。まずは、ボランティア同士の交流会を開催し、ボランティアは「元気で楽しく」をモットーに地域住民と高齢者との交流活動を進めていこうと思います。(坂口 逸子 記)

きさきりんどうの会：地域分野 西明石ブロック



今年も感染防止の身体的距離の確保、マスク着用、手洗い等の基本を守りながら従来の活動を継続していきたいと思っています。中止せざるを得なかった「つどい」等の活動も本年は「ミニ花見の会」として開催しました。お弁当は持ち帰りになりましたが参加者の皆さま楽しまれた事と思います。「絆」を大切に活動を続けていきます。(関浜 君枝 記)

王子ふれあいの会：地域分野 西明石ブロック



平成元年に発足、王子小学校区内6ヶ所のステーション、民生委員・協力委員、一般ボランティアの計57名で運営して今年で34年目になります。4月花見、5月節句、7月七夕、9月敬老日、1月初春、2月節分、3月ひな祭りは各ステーションで行い、月2回のふれあい会食と12月クリスマス会は全ステーション参加のもと一大イベントです。(山本 昌幸 記)

よろず会：施設・環境分野



私達よろず会は、1998年(平成10年)8月1日に設立し、老人保健施設(友愛会)、市社会福祉協議会等に置かれている車イスのメンテナンス(清掃・点検・整備)及び、地域の公民館、自治会等の要請に伴い出前講習会(車イスの取扱い・介助等)を行いながら、会員相互の親睦と情報交換・学習の基に地域の福祉向上を目指しています。(井上 保 記)

高丘文庫ボランティアグループ：教育分野



高丘文庫V Gは、毎週土曜日午後2時間、約30人のゲストを迎え15人のスタッフで応対。マスク着用、体温測定、手指消毒等コロナ禍のコミセン心得に準じ、部屋の換気、図書の洗浄や空気清浄器や酸素濃度計を設置し、環境整備、好条件作りの上、感染ゼロで推移し、今後も引続き地域コミュニティや地域住民の福祉に貢献していきます。(岩崎 彰 記)

あかし点訳グループ：技術分野



この2年新型コロナウイルス感染拡大を恐れてのボランティア活動に多少重荷を感じていた時、厚生労働大臣表彰をいただきました。沈んでいた重い心が急に明るくなり、大きな喜びに感激しました。このような中でグループ員が互いに知恵を出しあい、工夫に工夫を重ねた活動に取り組んでいます。

(片山 たづ子 記)

江井島なでしこの会：地域分野 大久保ブロック



私達のグループは、中コミの調理室で月1回、60才以上の地域の男性の方々の料理教室です。今年で6年目に入りましたが、最高齢88才の方を先頭に料理教室を楽しみに集ってくれています。コロナ禍の時は、なかなか開催出来ませんでしたので皆さん残念がっていました。ご家庭で習った料理をされる方もいます。

(尾辻 初美 記)

まないたお食事会：地域分野 大久保ブロック



30年間、9時から調理して高齢者・障がい者と共に50人が一堂に会しての昼食会でしたが、コロナ禍で会食は中止をせざるを得なくなりました。その後緩和されはしたものの密を避けるために、参加者を2回に分けて開催しています。黙食は「ふれあい会食」にそぐわないという事でパーティションを購入しました。(牧山 榮子 記)

ゆりかご会：地域分野 魚住・二見ブロック



コロナ禍で美容室に行けない、足が悪くて美容室まで足を運べない方のために、月1度ボランティアで美容師さんに来ていただきヘアカットを始めました。今までのようにサロンで食事会、お茶会も出来ません。コロナ禍で出来る新たな活動と思い2021年5月から美容室を始めました。参加者の方が月1度のカットを楽しみにされ、ステキなヘアスタイルで毎回笑顔あふれ帰られる姿を見て喜びを感じています。(中村 公子 記)

いずみが丘こぼと会：地域分野 魚住・二見ブロック



コロナ禍の活動は感染者数（特に明石市）を日々、意識しながら続けています。ふれあいサロン・健康教室など、参加者人数を意識したウイルス感染対策を講じながらみんなの協力と理解で続けていくことができています。なによりも、参加者の方々が楽しいひと時を過ごしていただき、良い笑顔で帰っていただくことができれば一番、嬉しいことですね。（上月 政幸 記）

あかねが丘学園ボランティア会：施設・環境分野



月例会はアスパ北館8階だった。ところがコロナ対策の使用制限と自己防衛のために Zoom 会議に変えた。慣れない人には電話で指導し約2年間継続してきた。気付いたのは会議室に集合して、資料を配付し、主催者が説明する会議に比し、情報共有の精度が向上し、移動の無駄時間も無くなり、非常に効率的な会議になること。（岩崎 三彌太 記）

明石青年学級：施設・環境分野



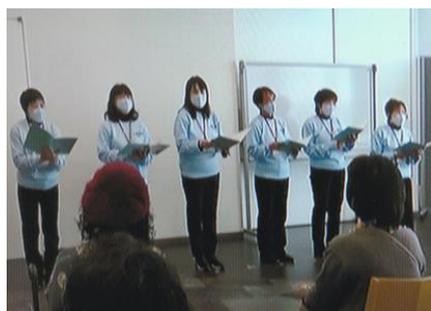
明石青年学級は知的障がいを持つ青年たちが、月に1回日曜日 JR 明石駅に集まり、活動を通じ、自らの社会参加を図るグループです。最近はコロナの為カラオケ等室内での活動は避け、ハイキング・海岸清掃等郊外活動を多く取り入れています。参加者も20人弱と半数位に減少していますが、ボランティアの目は行き届き、安全に活動できています。（藤原 理 記）

江井島の海と子どもを守る会：施設・環境分野



外での活動なので、毎月最後の日曜日に活動できたが、必ずマスク着用と、手指消毒、密にならない様に気をつけています。イベントは室内での計画をせず、清掃活動の延長で出来る環境学習などを行っています。最近は、企業の海岸清掃の参加の問い合わせや、小さなお子様を連れたお父さんの参加者が増えました。（安田 美奈 記）

友愛朗読 107：文化・健康分野



コロナ禍での例会を学びの好機と捉え、自前研修や朗読練習に励んできました。今年3月、私達の練習成果を発揮できる「おとなのためのお話会」をあかし市民図書館、西部図書館で開催しました。今年度も同館で2回ずつお話会を予定しています。聞いて下さる方々に温かく気持ちのこもった声が届けられる様に精一杯頑張ります。（野口 伸子 記）



明石市ボランティアセンターだより



ひょうごボランティア基金

令和4年度 県民ボランティア活動助成

エントリー受付期間

令和4年7月1日(金)~8月31日(水)

助成金を受ける場合は、市社会福祉協議会でエントリー(事前申込)が必要です。

助成金交付申請書 受付期間

令和4年11月1日(火)~令和5年4月3日(月)

助成金額

1グループあたり上限 30,000円

【エントリー受理数によって交付金変動】

主な申請条件

令和4年4月1日~令和5年3月31日の間で...

- ◆ 12日以上ボランティア活動を行っていること
- ◆ 6万円(税込金額)以上の対象経費の支出があること
- ◆ 団体の構成人数が5人以上であることなど...

詳しくは、【令和4年度 県民ボランティア活動助成金】のパンフレットをご参照下さい。

今年度より、新型コロナウイルス感染症発生以前の通常の申請条件に戻りました。
しかし、新型コロナウイルス感染症に対して「まん延防止等重点措置」以上の要請が兵庫県に発令された際は、昨年同様の申請条件になります。

令和4年度県民ボランティア活動助成のエントリーを【ふれあいプラザあかし西】でも受付します！

日 程	7月27日(水) ・ 8月25日(木)
時 間	10時~16時
場 所	ふれあいプラザあかし西 3階 ボランティア活動室

通常どおり7月1日(金)~8月31日(水)まで総合福祉センター2階事務所でも受け付けております(*^-^*)

夏休み一日ボランティア体験を開催します 高校生・高専生・大学生対象

やってみよう!

日 時	① 8月4日(木) 10時~12時	内 容	要約筆記ってなあに? (要約筆記体験) (定員15名)
	② 8月5日(金) 10時~12時		声で寄り添うボランティア (音声訳体験) (定員15名)
	③ 8月20日(土) 14時~16時 8月27日(土) 14時~16時 ※2回出席できる方を優先		ワークショップや防災ゲームで楽しく「まちづくり」や「ぼうさい」を考えよう (2回コース) (各回 定員20名)

★募集開始:7月5日(火) 募集締め切り①、② 7月25日(月)、③8月10日(水) 申し込み方法は下記にてお問合せ下さい。



【申込み・問合せ】明石市社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉係(明石市ボランティアセンター)

明石市貴崎1丁目5番13号 明石市立総合福祉センター内 (業務時間) ※土日祝、年末年始除く

電話: 078(924)9105 FAX: 078(924)9109 8:55~17:40



【編集後記】

コロナ禍を経て、各グループとも新たに活動を始めておられますので、本年度は連載で全グループに記事掲載をお願いする事にいたしました。

「明V連だより」は 過去のものも下記で閲覧出来ますので、グループの皆さんにお知らせください。

明石市社会福祉協議会 HP⇒【ボランティア】明石市ボランティアセンター⇒ボランティア活動中の方

⇒ボランティア連絡会⇒明V連だよりボランティアセンターだより

広報部一同